

第 1 回 垂井町立小中学校あり方検討委員会を開催しました

将来にわたって子どもたちによりよい教育環境を確保するため、「第 1 回垂井町立小中学校あり方検討委員会」を、岐阜大学教職大学院の古賀特任教授、PTA 代表、公募委員を含む 18 名により開催しました。令和 7 年度に開催した「垂井町立小中学校あり方研究会」の報告をもとに、町の学校を取り巻く現状や課題を共有しました。

検討委員会では、令和 9 年 2 月末までに、今後の学校のあり方について複数の方向性を取りまとめることを目標としています。そのため、住民の皆さんに学校を取り巻く現状や課題について、ご意見をいただきながら議論を進めていきます。

今後は、児童生徒や保護者、地域住民を対象にした学習会の開催を予定しています。人口や児童生徒数の推移、学校運営の現状や課題、新たな学校形態の特徴などについて、意見交流や感想を通して、住民の皆さんの考えを把握していきます。子どもたちにとって望ましい教育環境の実現と、将来にわたる持続可能な学校運営の両立を目指し、引き続き検討を進めます。検討委員会は年 4 回を予定しています。

